



ほけんだより

夏休み号

令和 4年 7月 15日
 横浜市立荇子田小学校
 校長 青木 勇
 養護教諭 榮 真樹

第1回学校保健委員会が開催されました

今年度のテーマは「感染症予防マスターになろう」です。自分たちができる「荇子田小の新しい生活様式」を全校のみんなで考え、実践していけるようにこのテーマにしました。今回は、朝の集会の時間にTV(ビデオ)放送を流し、全学年参加型の学校保健委員会を開催しました。放送後、各クラスの今年度の取組や合言葉を話し合いました。

レジュメ

- 1 はじめの言葉
- 2 学校保健委員会の目的や今年度のテーマについて
(児童保健委員)
- 3 感染症予防としてできることについて
(提案 児童保健委員)
・マスクと換気の大切さについて
・内科校医さんから
- 4 校長先生からのお話
- 5 クラスで話し合い



TV(ビデオ)放送による学校保健委員会を実施しました。



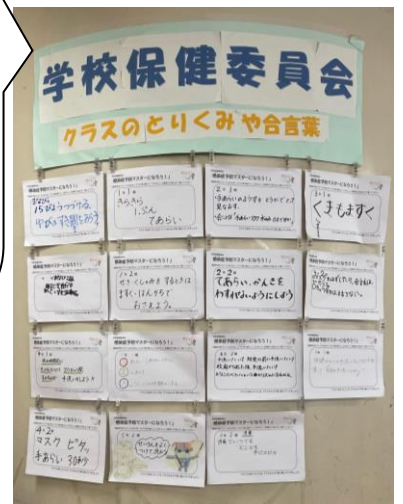
放送終了後、各クラスのとりくみや合言葉を話し合いました。



各クラスのとりくみや合言葉は、昇降口に7月中は貼ってあります。8月以降は保健室前に掲示します。

クラスのとりくみより

手洗いを撮影して確認しています。



裏面あり



○換気の大切さについては、親の私にとっても参考になりました。給食を作って下さる方々の徹底した手洗いは、子どもたちも声を上げて驚いていました。一番リアクションが大きかったです。合言葉は、各クラスとも得た知識を出し合い決定でき、ちゃんと理解できていることに嬉しく感じました。

○今回初めて学校保健委員会に参加させていただきましたが、児童保健委員会によるマスクの効果についての動画やお線香を使った実験などは、とてもわかりやすく面白かったです。また、動画を見た後のクラス内の話し合いが活発で、合言葉を決めるときは、盛り上がった様子でした。このような取り組みは、子どもたちの感染予防意識の向上につながると思います。

○先生や各クラスの保健委員さんからの話、ビデオについては、子どもたちが真剣に見ていたのが印象的でした。クラスのめあてを決めるころでは、どうしたらみんなが守れるルールとなるのか子ども自身が自ら考え、積極的に意見を述べている児童が多く、関心の高さが伺えました。

○保健委員会制作の動画にて、実際の教室での実験による換気の視聴覚的な効果や調理員さんの手洗い方法による見本で、感染対策の再確認が出来たことと思います。クラスでの話し合いにおいても、活発な意見交換がされ、自分たちで行動ができて、効果が得られる一番身近な対策を導き出しました。子どもたちの間で、感染や予防への意識が薄れてきたこのタイミングで実施したことは、大変良い取り組みだったと感じました。

○新型コロナウイルスが流行して2年以上が経ち、心配がある中でも様々な感染症予防対策を行いながら学校生活を送られている子どもたちや教職員の皆さんは、我々保護者よりもっと高い意識をもっておられることが、ビデオからも教室の話し合いからも感じられました。そんな子どもたちが一番驚いたのは、給食調理員さんの方の手洗い方法が紹介された場合でした。「ヤバイ!すごい!」「爪ブラシって何」といった声が聞こえました。日々、色々な方が徹底した対策を行って下さっている上に成り立っている日常生活なのだなど再確認できました。子どもたちにも伝わったのではないかと思います。慣れた頃に緩みやすいと思います。このような機会を改めて設けて下さりありがとうございました。



夏休みの約束

あいうえお

あ

さごはんを
毎日食べよう



い

つもと
同じ時間に
起きてね



う

んどうするときは
水分補給を忘れずに



え

いようバランスは
OK?



お

ふろに入って
疲れをとろう



はや 早起き 元気カードをやりましょう

